

# Fashion

人事のファッション機能学

## 日々のお手入れで 服装の見え方が変わる

服装というのは1日だけ整えても着る人の印象は変わりません。大事なのは、服装に配慮し続け、ビジネスの場で信頼できる人物としてのイメージを定着させること。そのために、ぜひ習慣化してほしいのが、洋服や小物のお手入れです。

シャツや下着は毎日洗濯しても、スーツは何もせずにクローゼットにしまい込んでいませんか？1日着たスーツにはたくさんの細かいほこりやゴミがついています。放っておくと繊維の目が詰まって風合いが損なわれますし、虫食いの原因にもなります。そうならないように、帰宅後はすぐにブラシをかけましょう。

ブラシはまず玄関の外でさっと花粉やほこりを落とした後、室内でかけるのが理想。テーブルなど平らな場所に置き、まず、下から上にブラシをかけてほこりや汚れをかき出し、次に上から下にかけて繊維を整えます。女性の

ADVISER

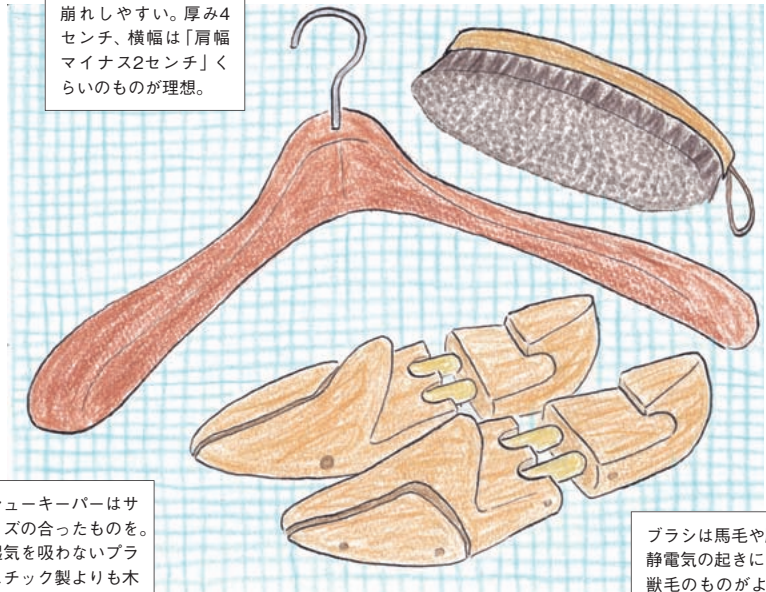


政近準子氏

ファッションレスキュー  
代表取締役社長  
パーソナルスタイリスト

Masachika Junko\_アパレルのデザイナーを経て、2001年個人向けスタイリングを行う「ファッションレスキュー」を創業。顧客は政治家、経営者など1万人を超える。おもな著書に『チャンスをつかむ男の服の習慣』(KADOKAWA/中経出版)など。

細いハンガーは服が型崩れしやすい。厚み4センチ、横幅は「肩幅マイナス2センチ」くらいのもが理想。



シューキーパーはサイズの合ったものを。湿気を吸わないプラスチック製よりも木製がおすすめだ。

ブラシは馬毛や豚毛など静電気の起きにくい天然獣毛のものがよい。最近では繊細な生地の洋服が多いので、新調するならば、ソフトな馬毛がおすすめ。

スカートやワンピースも着るたびにブラシをかけるとなめらかな風合いが出来ますから、ぜひ試してください。

着用した洋服は大量の汗や湿気も含みます。カビの原因になりますから、帰宅後は必ずハンガーにかけて1日陰干しを。サイズの合わないハンガーは型崩れの原因になりますので、肩幅に合ったものを用意すること。湿気を吸う木製がおすすめです。パンツも陰干しします。ピンチ付きのパンツハンガーに裾を上にして吊るすのがポイント。パンツの重みでセンターの折り目のラインが長持ちします。

また、衣類にはにおいもつきませんが、自分では気づきにくいもの。防臭ケアも大事です。衣類のにおいのものは繊維に付着した粒状の成分。スチームアイロンを使えば、この粒を吹き飛ばしたり、水分に吸着させて蒸気と一緒に放出できます。スチームアイロンの蒸

気を衣類の内側から当て、次に外側から当てましょう。1~2週間に1回、週末のお手入れだけで十分です。

毎日の習慣としてもう1つ続けたいのが、革靴のお手入れ。お手入れといっても、玄関先でシューキーパーを靴に入れ、靴ブラシをさっと全体にかけただけ。靴クリームをぬるのは2週間に1回が目安。ぬり過ぎはひび割れのもとなので気をつけましょう。

今お話ししたことをすべてやっても、慣れれば10分ほど。続けることで洋服も靴も状態が違ってきます。季節の変わり目にたくさんの服をクリーニングに出す方もいますが、毎日のお手入れがよければ、必ずしもその必要はなく、衣替えの負担も軽くなります。何より、同じ服でも状態の違いで周囲からの見え方が変わってきます。ぜひ、習慣にして、人の上に立つにふさわしい風格を身につけてください。